

# さんようおのだ 議会だより

2016.5

一般会計予算を 修正可決	— 2
委員会レポート	— 4
代表質問	— 8
一般質問	— 11
議決結果	— 13

平成 28 年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます



新制度のもと開始された  
小規模保育事業所を視察しました

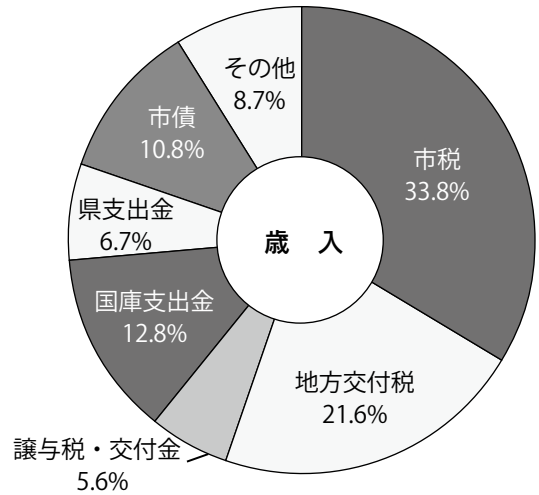
平成 28 年度  
一般会計

# 一般会計予算を 修正可決

3月議会（2月22日から3月25日）では、平成28年度の一般会計予算について「一般会計予算決算常任委員会」で4日間にわたって審査を行いました。

予算総額は286億1171万円で、前年度と比較して38億671万円、15.3%の増額となりました。増額の主な要因は、山口東京理科大学の公立化による運営交付金など、22億6250万円が新たに計上されたためです。

委員会では、主要施策のうち27事業を抽出し、実施計画と事業評価シートを中心に審査を行いました。審査の結果、埴生地区複合施設について建設関連予算の一部を削除する修正案が提出され、委員会、本会議いずれにおいても賛成多数により修正可決となりました。



一般会計予算額  
286億1171万円

## ●議会の提言が新年度予算に反映！

### ◇議会の提言

ふるさと寄付金の拡充を図り、観光振興に結びつけ、情報発信に資すること



### □ふるさと山陽小野田応援事業

サポート寄付の寄付者に特産品等の返礼品の送付、納付方法を簡素化（クレジット払い）



### ◇議会の提言

子育ての悩みや相談に的確に対応するための支援体制の強化、総合支援センターの設置



### □子育て総合支援センター整備事業

子育てに関する相談・助言、情報提供、妊娠期からの総合的な支援がワンストップで受けられる拠点施設を整備



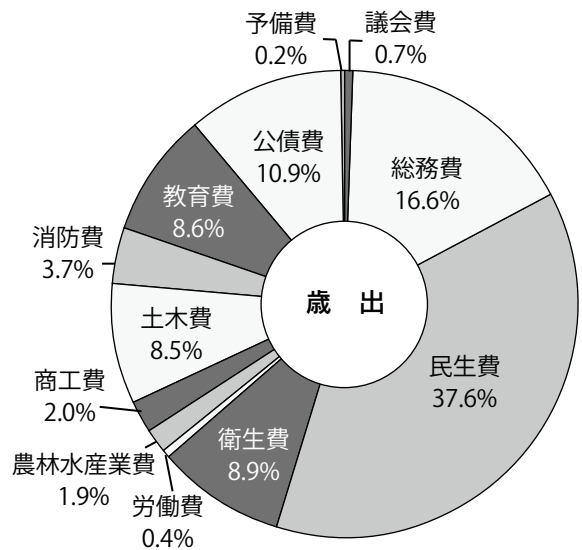
### ◇議会の提言

乳幼児医療費助成制度を他市に劣らないものに充実させること



### □乳幼児・子ども医療費助成拡充事業

未就学児にかかる医療費を無料化、子どもにかかる医療費の助成対象を中学3年生までに拡充して負担を軽減





## ◎ 埴生地区複合施設の設置場所等の再考を求めました

予算決算常任委員会は、新規事業である埴生地区複合施設の建設関連予算については、審議日程を1日延長し、白井市長の出席も求め、慎重な審議を行いました。この事業は埴生支所・公民館の老朽化に伴い埴生地区の地域コミュニティの拠点として、埴生中学校南側の民有地

2776㎡を取得し、支所・公民館・児童クラブ室の3つの機能を統合した施設として整備しようとするものです。平成31年度の完成を目指して、平成28年度は基本設計、用地測量、地質調査を行うため6258万円を予算化したものです。

質疑内容は以下の通りです。

**問** 当初は青年の家周辺に整備し、交流の場、市の核の一つという構想がされたが、なぜ変更したのか。

**答** 市内外、校区外からの利用も含めて整備していきたいということであったが、地域の交流拠点として小・中連携校と隣接することで、地域との連携を深めていくことができる。青年の家周辺は今後しっかり構想を練る中で、将来的なまちづくりにつなげていきたい。

**問** 収容最大人数200人だが、駐車場15台で大丈夫か。

**答** 学校側の駐車場と現埴生公民館の跡地の駐車場に対応する。

**問** 合意形成について大半の方が合意という認識とのことだが、その判断はどうか。

**答** 昨年9月に中学校の隣接地で提案し、意見をいただき修正し、11月の最後の意見交換会では、駐車場の台数確保の要望はあったが、反対はなかった。

## 修正案

### (内容)

埴生地区複合施設建設に係る用地購入費等を削除

### (提案理由)

埴生地区の大切な交流拠点として必要性は十分理解しているが、場所決定の市民合意の捉え方、学校隣接の危険性や将来を見据えたまちづくりの観点から検討した結果、青年の家周辺やオートレース場駐車場などを視野に入れ、再考してほしい。



↑現在の埴生支所・公民館

修正案賛成意見	修正案反対意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の意見であり、市民合意ではない。</li> <li>疑問のある議案は、修正して議会がきちんと対応したほうがいい。</li> <li>提案されている場所では埴生地区のまちづくりの将来さえも語れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合意は取れており、修正すると議会不信</li> <li>隣接することで地域と学校が密接な関係</li> <li>都市計画マスタープランと整合性が取れており、タイミングを失うと適切な財源が確保できない。</li> </ul>

**結果 賛成多数で修正可決**



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

### 条 例

#### ● 公益的法人等への職員の派遣に関する条例

#### 理科大へ職員を派遣

**概要** 山口東京理科大学が公立化することに伴い、大学運営が円滑に進められるよう組織体制を支援、強化するため、職員を派遣できるよう改正を行うものです。

**主な論点** 「どういった業務を支援するのか」との質問に「これまで経験のない業務、例えば経理、人事給与関係などである」また「派遣期間はどれぐらいか」との質問に「2年ないし3年程度と考えている」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

#### ● 執行機関の附属機関に関する条例

#### いじめに関する委員会を設置

**概要** いじめによる重大な事案が発生した場合、現在要綱により設置している「いじめ調査委員会」を附属機関とするとともに、必要に応じて再調査を行う「いじめ調査検証委員会」を新たに附属機関として設置するものです。

**主な論点** 「重大な事案とは何か」との質問に「児童生徒の生命、財産がおびやかされるとか30日以上欠席などを重大な事案と捉えている」また「これまで調査委員会を立ち上げたことはあるのか」との質問に「実際に立ち上げたことはない」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 特 別 会 計

#### ● 28年度オート事業会計予算

#### 船橋オート閉鎖による影響は

**概要** 歳入歳出予算総額をそれぞれ84億9949万2000円とし、歳入の主なものとして勝車投票券発売収入80億3041万円、歳出の主なものとして包括的民間委託料6億5000万円、勝車投票券払戻金55億5972万5000円とするものです。

**主な論点** 「船橋オート閉鎖による本場への影響はどうか」との質問に「開催日数が2日増える」また「選手が移籍してくるのか」との質問に「本場への移籍はない」との答弁がありました。また「駐車場の使用状況についてどうか」との質問に「埴生駅から東側のレース場下にある第2、第5駐車場は借地で、年間約600万円程度の支出になっている。約1100台収容できるが、平日はなかなか埋まることはない」また「借地料を払い続けることが合理的なのか」との質問に「今後の課題だと認識しているが、まずは売上げを向上させ、施設を利用してもらうことに専念したい」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



← オートレース優勝戦



# 委員会レポート

## ■ 民生福祉常任委員会

### 特別会計

#### ● 28年度国民健康保険会計予算

#### 医療費が県下6位に

**概要** 国保料の賦課限度額や軽減基準の見直し等により、歳入歳出とも83億2176万8000円で、前年度比99.1%となります。

**主な論点** 「特定健診の医療費抑制効果は」との質問に「26年度の受診率は35.6%で県下1位となり、医療費は現時点では県下2位から6位に下がった」また「保険料収納率と滞納者への差し押さえ件数等は」との質問に「27年度収納率は90.5%を見込み、資格証明書221件、短期保険証418件、差し押さえ件数は200件ある」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 条例

#### ● 国民健康保険条例の一部改正

#### 負担の公平性確保を

**概要** 国保料限度額の引き上げと軽減判定所得の見直しを行うものです。

**主な論点** 「改正で国保料が増減する世帯数は」との質問に「国保料限度額引き上げは150世帯、2割軽減は56増の1272世帯、5割軽減は34増の1625世帯となる」また「限度額世帯での滞納者はいるのか」との質問に「滞納者はいる」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### 企業会計

#### ● 28年度病院会計予算

#### 赤字予算を提案

**概要** 1日の入院患者180人、外来患者450人と設定して医業収益は昨年度比3200万9000円減の37億1314万円で、単年度純損失1億4439万3000円を見込んだ赤字予算となっています。

**主な論点** 「入院180人、外来450人の根拠は」との質問に「達成が確実に見込める患者数を設定した」との答弁がありました。また27年度補正で資金不足のため一般会計から約3億円の繰り入れをしていますが、「資金不足は起きないのか」との質問に「借入金是一般会計6500万円、工業用水道会計3億4000万円と5億円の一時借入金があるが、28年度以降は不良債務は出ない」との答弁がありました。また「新病院建設に関連する減価償却費が経理上大きな重荷で、患者数の増が必要ではないか」との質問に「予算上の病床稼働率は83.7%だが、減価償却費を考えれば5年間は95%の稼働率が必要で、その後は90%であれば一定の積立てができる」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

#### 附帯決議

1. 当初からの赤字予算の計上は好ましくない。これは病床稼働率の設定が甘いと考えられる。ついては半年後にも上方修正の補正が上程されるよう経営努力すること。
2. 経営会議の内容を定期的に報告すること。



# 委員会レポート

## ■ 産業建設常任委員会

### 条 例

#### ◎ 駐車場条例の一部改正

#### 駐車場料金が半額以下に

**概要** 市民や議会からの要望もあり、料金を引き下げることにより、駐車場利用者の利便性を高め、利用促進を図ります。

利用者が割安感を実感できる料金を設定しました。平成 28 年度と 29 年度合わせて約 2400 万円の不足が見込まれますが、繰越金 1700 万円と不足分は一般会計から繰り入れます。

**主な論点** 「駐車画数の利用率は」との質問に「平均すると 53% 程度である」また「値下げ後の市民への周知は」との質問に「条例議決後に直ちに看板を設置する」との答弁がありました。「障がい者用スペースが使いにくいと不評だが」との質問には「当駐車場だけでなく、駅前スペース全体の利活用の中で検討する」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

#### 【厚狭駅南口駐車場料金】

駐車時間	現行	改正	差額
0～1h	100 円	0 円	△ 100 円
1～2h	200 円	100 円	△ 100 円
初日 24h	1000 円	500 円	△ 500 円
以降 24h	1200 円	400 円	△ 800 円
48h	2200 円	900 円	△ 1300 円
2 日目 (24h) 以降	1 時間毎 50 円	6 時間毎 100 円	△ 800 円 ／日

### 所管事務調査

#### 新配水池を視察

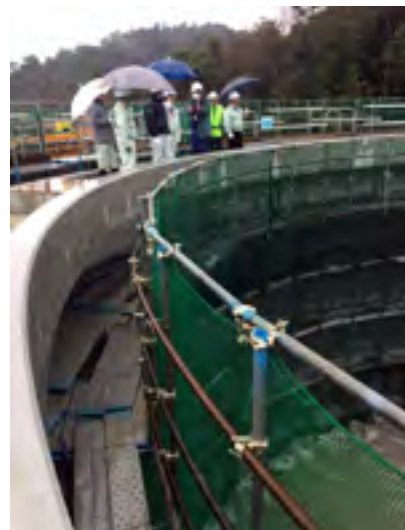
西見峠周辺山間部に建設中の新配水池(5000 トン) を視察しました。

これまで、物見山配水池 940 トン及び山川配水池 2000 トンで厚狭地区に給水してきましたが、半日分の給水が確保できないことと、物見山配水池の老朽化から厚狭地区全体の給水をまかなうことを目的に建設されているものです。

工事の進捗率は 50% に到達したところで、本体部分が立ち上がっていました。委員が現場責任者の案内で工事途中のタンクの上に上がり、進捗状況を確認しました。

今回の工事手法では、東日本大震災以後に見直された新基準に沿って建設されたもので、震度 7 にも耐えられるものとなっています。

工事は平成 29 年 4 月からの給水を目標に、急ピッチで進められていました。



← 建設中の配水タンク



## ■ 山口東京理科大学薬学部設置促進 並びに利活用調査特別委員会

### 条例ほか

●山口東京理科大学の運営に関する条件等の議案 4 件について審議

概要 公立大学法人山口東京理科大学運営のために定めるべき案件で、主に次のことを定めるものです。

- (1) 財産や議会の議決事項とされる内容について  
重要な財産とは国同様に、帳簿価格 50 万円以上とする。  
議会議決が必要な案件は、2000 万円以上の不動産（土地は一件 5000㎡以上のものに限り）等とする。
- (2) 大学運営基金条例の制定について  
健全な財政運営に必要な資金を積み立てるために基金を設ける。
- (3) 大学中期目標について  
6 年間の期間に達成すべき業務運営に関する中期目標を定める。
- (4) 入学金、授業料等について  
大学が業務に関し徴収できる入学検定料、入学金、授業料などの料金の上限を定める。

主な論点 「基金を作るのに、大学法人東京理科大学から提供される資金は」との質問に「基金設立を目的に提供される資金はない」との答弁がありました。また「大学中期目標を定めるに当たり関係者から意見を聞いたのか」との質問に「公立大学法人評価委員会を開催し、委員の意見を聞いている」との答弁がありました。

結果 全員賛成

※主な料金

	区分	単位	金額 (円)
入学 検定料	学部学生	1 件	17,000
	大学院生 編入学 再入学 転学科	1 件	30,000
入学金	学部学生 (市内者)	1 件	141,000
	学部学生 (市外者) 大学院生 編入学 再入学	1 件	282,000
授業料	学部学生 大学院生 編入学 再入学 転学科	年額	535,800



← 山口東京理科大学入学式

## 人口増、地域の活性化の方策は

会派 進化 伊藤 實 議員

**問** 魅力のないまちには、人は集まらない。本市の良好な自然環境、交通の利便性などの地理的要因を生かし、さまざまな魅力づくりを実行・発信することで、市外・県外から本市に定住してもらう必要がある。

施政方針に「山口東京理科大学の公立化及び薬学部の設置による人口増こそが本市発展の核となる」とあるが、具体的な人口増加策とは何か。

**答** 山口東京理科大学の公立化及び薬学部の設置により、学生、教職員などにいかに市内に居住してもらうかが課題である。

そのためには大学周辺における交通の利便性の向上も必要である。

**問** 施政方針に「同大学のさらなる活用による人材育成、地域の活性化」とあるが、具体的な地域活性化策とは何か。

**答** 地元での雇用の確保はもとより、県内の企業、本大学も含めた県内の大学、医療機関、その他の関係機関でネットワークを形成し、付加価値の高い研究開発や事業化への取り組みに支援を行う。それにより、新たな成長分野の育成を図り、産業の振興を通じて雇用を確保していきたい。



## 子ども・子育て支援の充実策は！

会派 市民クラブ 長谷川 知 司 議員

**問** 子育て支援策について他市と比べて実効性のある策は何か。

**答** 昨年から、子育てコンシェルジュ事業を開始し、今年度からは子育て世代の医療費助成事業等を拡充する。

小野田駅北側の旧労働基準監督署の建物に、総合的な子育て支援がワンストップで受けられる「子育て総合支援センター」を設置する。

また母子支援の母子保健事業として、保健センター内に「子育て世代包括支援センター（ココシエ）」を配置する。



**問** 幼稚園・保育園の保育士職員には、正規職員、任期付職員、再任用職員、臨時職員とあるが、これらの待遇は職種、職務内容に合った待遇なのか。保育は「質の確保」が大事だがどのように考えているのか。

**答** 近隣市町あるいは民間等を調査していて、今年の4月から給料の格付けの見直しを行う予定としている。

**問** 1月に保育士を任期付職員として10名募集しているが、どのような配置なのか。

**答** 待機児童の解消のための増員で10名採用予定である。また、正規職員も2名増員で採用予定である。



## 4 期目の市長選出馬はあるのか

会派 日本共産党 中 島 好 人 議員

**問** 市長選で続投の意志について聞く。

**答** 原則的にはない。しかし候補者が市長にふさわしくないとほとんどの市民が見れば、考え直す。

**問** 東京理科大公立化や薬学部建設について、市長は公約で「マイナス面も積極的に公表して、新しい市政を市民参加の中をつくる」と言っているが、いまだに市民に対して説明がないのはなぜか。

**答** 市側と大学側との調整がまだついていない。市民には申し訳ないと思っている。

**問** 薬学部建設に当たって、市内業者への発注は本市の活性化にとって欠かせないが、地元発注の覚悟はあるか。

**答** 相手のある話なので結論がどうなるかは分からないが、覚悟はある。

**問** 埴生地区複合施設建設では、意見交換会でまとまった意見が、5500人の埴生地区住民の意向だと判断しているのか。

**答** 何回も通った。途中でジグザクしたが、一応、決まったんだというのが私の受け止め方だ。

## 施政方針での強調すべきものは

会派 誠風 杉 本 保 喜 議員

**問** 本年度の施政方針の最重要事項は何か。

**答** 山口東京理科大学の公立化及び薬学部の設置による人口の増加と大学の活用から人材の育成、地域の活性化が図れるよう取り組んでいく。

**問** 「文化・スポーツ振興部」の構成と位置付けは何か。

**答** 部内に政策の立案調整部門と施設の運営管理部門を設置し、関係部署、機関と連携して全市的なまちづくりを展開する。

**問** 観光振興での交流人口の増加策は何か。

**答** ビジョンや目標値を入れたアクションプランを基に、市を挙げて観光振興を図る。

**問** 子育て総合支援センターの目指す運用形態は何か。

**答** 総合支援センターは現在の五つの事業機能（地域子育て支援拠点、利用者支援、ファミリーサポートセンター、子育て世代包括支援センター、母子保健）を柱に連携させ、子育て世代の孤立の是正・不安の解消へつなげていく。





# 代表質問・視察報告

## まちづくりの具体策はどうか

会派 改進黨 河崎平男 議員

**問** 生活改善、学力向上プロジェクトの成果はどのようになっているか。

**答** 家庭生活では、就寝、起床、朝食の摂取、テレビの視聴時間等で改善している。学力向上では、集中力、粘り強さ等学習意欲の向上や計算の速さや英単語の記憶量の増加など基礎学力の向上に効果が表れている。

**問** 暮らしの安心、安全を守るまちづくりの施策で、新病院の事業展開する中、経営分析を外部に委託する考えはないのか。

**答** 第三者の評価は歓迎しており、これまでも相談している。

**問** 今年度から着手予定の埴生地区複合施設整備事業と埴生小中学校整備事業の内容はどうか。

**答** 支所、公民館、児童クラブ室の機能を合わせた施設で平成31年度末に供用開始予定である。また、埴生中学校の隣接農地を購入しグラウンド等を整備する。中学校の南側に小学校を新築し、二つの校舎を渡り廊下で接続し、小学校は平成32年4月に開校予定である。



## ◎視察報告／会派「改進黨」

視察者 ■ 小野泰 河崎平男 中村博行

視察日 ■ 1月21日～22日

○愛知県あま市

- ①子ども子育て支援事業の先進的な取り組み
  - ②「まちづくりロードマップ」の実施状況
  - ③「NPO法人ママ・ぶらす」の活動状況
- <考察>

「まちづくりロードマップ」は先を見通しての方向性を示し、計画を実行、それを評価している。評価では、当初掲げた全60施策のうち「未着手」はゼロで、その平均評点も高く、PDCAサイクルが機能していると思えた。「ママ・ぶらす」は子育て中の女性の新たなライフスタイルを提案、実践している素晴らしい活動をしており、あま市の子育て事業には欠かせない存在であると感じた。

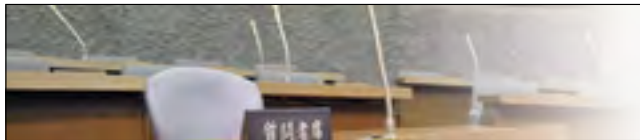
○愛知県知立（ちりゅう）市

- ①知立駅付近連続立体交差事業
  - ②知立駅周辺土地区画整理事業
- <考察>

駅周辺の道路の渋滞、「あかずの踏切」の対策として、国や県の支援を受け、知立駅の高架化に合わせた区画整理事業、新たなまちづくりに着手している。本市も二つの駅周辺とも、このような早期取り組みが強く望まれる。



← 愛知県知立市



# 一般質問

## ベトナム出張は何のため？

下瀬俊夫 議員

**問** 一昨年5月に新市民病院建設に関連して、現場監督職員が製品検査名目でベトナムに出張した。現地ではホテル、食事、飲み代からカラオケまで全て業者が支払っている。職員倫理上、問題ではないか。それに職員が購入した航空チケットの領収書が出張命令の1カ月前になっている。おかしいではないか。

**答** 市の職員は清潔でなければならない。市長以下、指摘された趣旨は徹底し、指摘された事項は調査する。



## オート事業活性化の取り組みは

中村博行 議員

**問** 包括的民間委託先が日本写真判定になって2年となる。船橋場閉鎖など厳しい環境の中で売り上げ向上のため、選手の小中学校での講演を含めさまざまな取り組みをしているが、今後の見通しはどうか。

**答** 売り上げは下げ止まったと考えている。28年度は開催日2日増に加え、土・日・祝日開催も増え、企画レースや多彩なイベントも予定している。児童生徒に「努力の大切さ」などを伝えた選手の講演は好評で、継続したい。



活性化に努める  
オート事業

## 中学校にストーブを

岡山 明 議員

**問** 受験を控えた中学3年生の教室には、せめてストーブ設置をすべきではないか。同じ学習環境の中で他市と遜色なく、受験にチャレンジさせたいがどうか。

**答** 3年生であるからということでの、特別扱いは難しい。実際の温度測定でも、教室間によって非常に温度差がある。もし部分的に取り付けるとなれば、温度が優先される。今考えているのは、全学年の普通教室一斉にという考え方である。



## 未給水地域へ飲料水の確保を

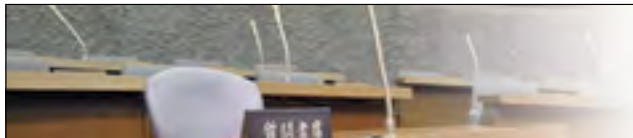
笹木慶之 議員

**問** 中山間地域は空き家対策・過疎化対策等多くの課題を抱えているが、その中で生活の原点である飲料水の確保は重要な政策ではないか。水道が給水されてない地域について適切な対策が必要と思うが認識と計画を聞く。

**答** 生活に直結する行政サービスでありながら提供できてないことを改めて認識した。指摘された件に加え、生活衛生の観点からも既存施設の改修、新施設の設置工事の支援が有効と考える。他市の状況等も参考に検討する。







# 一般質問

## 補助金生かした市内直通バス路線

岩本信子 議員

**問** 約1億3600万円の補助金を出しているバス路線だが、市民に公共財産であることの理解と情報提供のあり方、まちづくりの根幹となる厚狭駅から東京理大への直通バス路線の実現はどうか。

**答** 新交通網計画では、市民・事業者の協力の必要性を入れており、情報提供と合わせて努力する。小野田地区から厚狭駅までの移動には乗り継ぎがあり不便な状況は認識している。新路線の実現には需要や収支バランスなど、十分な検討が必要だ。



小野田駅前バス停

## 病院の経営改革を早急に

河野朋子 議員

**問** 病院会計は約3億円の資金不足が生じ、補正予算で一般会計からの繰り入れをした。これまでも患者数など目標を達成できず、計画の下方修正を繰り返しているが、これでは健全経営とはいえない。外部から経営者を入れるとか、経営形態を変えるなど、思い切った対策が必要だ。市長はどう考えるのか。

**答** そのとおりだ。第三者機関に評価をしてもらう時期が来ているのではないか。

3月と4月の庁議において実施の方向で考えを取りまとめた。



山陽小野田市民病院

## 子どもを大切にすることを示そう

吉永美子 議員

**問** 子ども条例の制定については、平成24年12月議会で提案していた。安心して子育てできる本市であることを広く伝えるという意味からも、子ども条例は制定すべきである。子育てを応援する思いを形にする一つのツールとして大きな効果があると思うが、市長の思いを聞く。

**答** 誠に申し訳ないが、子ども条例の勉強はこれからである。他の諸問題を抱えており、順番がなかなか回ってこないが、至急勉強して、条例をつくるべく努力する。



## 意見交換会はしないのか

山田伸幸 議員

**問** 白井市長は、重要な決定をする前には、市民説明会などを行い、市民の意見を聞いてきた。大学の公立化では、なぜ市民との意見交換会をしないのか。

**答** 大学の公立化は、市の活性化に重要な役割を果たす事業であり、広報で知らせた。事業の重要性から市民へ説明し、意見を聞きたいと考えているが、学校法人との間で調整が必要な事項があり、開催できていない。調整が終了し、市民に話ができる段階になれば、説明会を開催したい。



# 議決結果

## ◎議案に対する議員の賛否状況

3月定例会で議案等60件を審議し、賛否の分かれた10件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成28年3月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																			
		石田清廉	伊藤貴	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	河野平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	尾山信義
平成28年度山陽小野田市病院事業会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成28年度山陽小野田市一般会計予算について【委員会修正案】	可決	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	/
平成28年度山陽小野田市一般会計予算について【修正案を除く原案】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度山陽小野田市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○
平成28年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計予算について	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
平成28年度山陽小野田市下水道事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度山陽小野田市病院事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度山陽小野田市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

## ◎本会議を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。定員は報道関係者を除き35人で、ほかに車椅子(2人)の方のための傍聴席もあります。入口の受付で住所、氏名、年齢を記入していただきます。

なお、6月定例会の日程は14ページをご覧ください。



## ◎議員研修会を行いました

3月22日議会改革について全国的に活躍されている山梨学院大学教授 江藤俊昭氏を講師に招き、「住民自治の根幹」を作動させる議会・議員の条件整備などについて、議員研修会を行いました。江藤氏が話された内容は次のようなものでした。

- ①議会改革によって住民自治が広がったのか。
- ②議員定数は、委員会で議論ができる人数が必要である。



- ③議会活動が保障できる報酬と政務活動費となっているか。
- ④議会改革によって市民福祉の向上に寄与するものであること。



江藤氏には、今後も専門的見地からアドバイスをいただくために、尾山議長が議会アドバイザーに委嘱しました。

お知らせ

### 6月定例会会期日程(予定)

#### 本会議の日程

6月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

月 日	本会議
6月 9日(木)	議案上程・説明
6月17日(金)	一般質問
6月20日(月)	一般質問
6月21日(火)	一般質問
6月22日(水)	一般質問
6月27日(月)	質疑・討論・採決

## 編集室より



若葉が目まぶしい季節となりました。新メンバーとなった広報広聴特別委員会では、「読みたくなる議会だより」を目指して、紙面のリニューアルを予定しています。

それに先立ち、委員会研修として、市の広報係による出前講座を受けました。

市民の皆さんに手に取ってもらえるよう、改善に取り組んでいきます。

どうぞ、ご期待ください。

#### ◎広報広聴特別委員会

委員長 長谷川 知司	副委員長 河野 朋子
委員 大井 淳一郎	委員 笹木 慶之
委員 下瀬 俊夫	委員 中村 博行
委員 矢田 松夫	委員 山田 伸幸
委員 吉永 美子	



《表紙の説明》 4月からの新制度で、小規模保育事業所として認定されたプティット小野田保育園と、こぐま保育園(写真)を視察しました。低年齢児の待機児童解消などを目的に、概ね2歳児までの乳幼児を預かり保育する施設です。